

## 阪神・淡路大震災の時 浜甲子園団地は



当時から浜甲子園団地に  
お住まいの方に教えていただきました。

室内ではタンスや大型家具が転倒したり、食器棚から食器が飛び出して割れたり散乱しました。落下物で入口のドアが開かないなど、予想もつかないことが起こることをこの地震で体験しました。

「給水所から高齢者宅へ、自主的に給水を手伝う子どもたちの姿が忘れられません」とかつての住民さんが語ってくれました。近隣住民の助け合いが、一番大切なんですね。



幸い、団地建物に亀裂が入っていたのは1棟だけでした。しかし、建物の被害より地震に対する恐怖心が大きく、浜に建てられた仮説住宅に申し込む方も多くいました。



自治会では、正確な情報の収集と発信に努めました。旧厚生年金プールの水を生活用水にいたくなど、近隣施設からも援助をいただきました。

現なぎさ街西の建物にクラックが出た。

## 南海トラフ津波が発生したら

### ①覚えておこう！

- 浜甲子園団地再生事業区域のほとんどのマンション・団地は鉄筋コンクリート造ですので、基本的には3階以上に居る方は「自宅等待避」
- 集合住宅の1階2階・戸建・スーパーでの買い物中・通学中のこどもたち・ウォーキング中のシニアの方々は「垂直避難」
- 近くの避難ビル ※避難可能人数の多い箇所だけ記載

浜甲子園団地再生事業区域の収容可能人数 1000人以上の場所



UR 浜甲子園さくら街1~19棟（3階以上の廊下・階段）  
甲子園九番町市営住宅1~3号棟（3階以上の廊下・階段）



甲子園浜小学校（3階教室等）  
浜甲子園中学校（3階教室等）  
西宮東高等学校（3階教室等）

### 備える

### ②知っておこう！

ファインシティ甲子園は、西宮市との協定により避難ビルに指定されているためマンションのオートロックは震度5強の長めの揺れでオートロック扉が開放状態となり一時避難施設となります。（大阪北部地震では震度4~5弱のため作動無し）一方URなぎさ街のオートロックについては、自動解除機能がついてないため、避難ビルに指定されていません。

### ③今日からやろう！

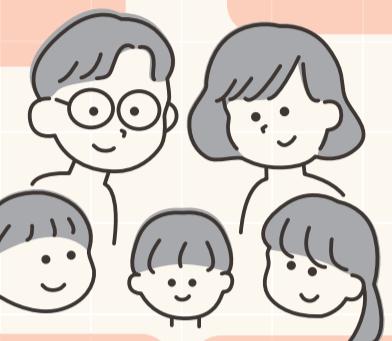
「明日着る服を枕元に」「財布、スマホと充電器とケーブルも枕元に」「避難バッグを取り出しやすい場所に設置」怪我やトラブルなどが起るのが地震です。万が一に備え、避難方法について家族で話し合っておくことが大切です。

## 知る

### 明日区（戸建て）

5人家族（小3・6歳・4歳）

どんな人が助けを必要としているかわからなかったです。個人情報などむずかしい時代ではあるが、手伝いが必要な方の名簿をまとめておくなどができるたら…

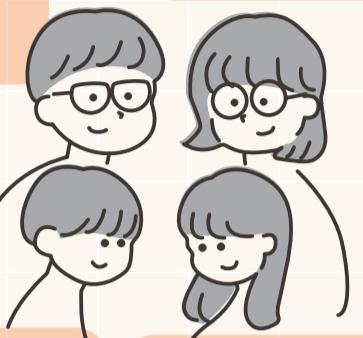


当日は電気が1日停電しました。常に防災セット、お水、数日分の食料を準備しているので食事には困らなかったです。

### ファインシティ甲子園

4人家族（小2・5歳）

ウォーターサーバーのお水の予備があったから、飲み水の心配はしていなかったんだけど、それよりモバイルバッテリーが欲しかった。



半日停電で、水は2日間断水したのよ～駐車場も機械式の為、出庫できなくて困った。

### 浜甲子園団地自治会

借りた発電機で、住民さんたちの携帯の充電ができるようになりました。

当日は自治会の車で情報をアナウンスして回りました。

高潮は今までなかった

ので怖かったです。

### 台風21号について聞いてみました

ここ最近では2018年9月の台風21号で浜甲子園エリアで停電・断水などの被害がありました。

その被害は、誰も予想できないほど大きく、引っ越してきて1年も経っていない住民さんもいました。

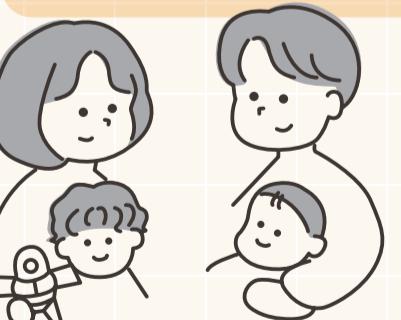
その時の状況や今後の対策などをインタビューしてみました。

### UR さくら街

4人家族（3歳、0歳8ヶ月）

私は防災月間というのを作っていて、3ヶ月に一度備蓄品の賞味期限などを確認し、使いつながら備蓄しています。

子どもが2人いるので、出先で災害が起っても、しのげるよう水・塩・アルミシートを持ち歩いています。



自分の住んでるフロアだけですが、ノックして声をかけたり、掃除したりしました。何かあったときのためにご近所さんと連絡先を交換しているので、そういうことは大切なんだと改めて感じました。

今後、避難することになった時の、具体的な経路を家族で決めようと思っています。  
オフグリッドなど、自家発電の知識を取り入れていきたいです。

### まとめ

①ライフラインが止まった時の対策を必ずしておこう

【モバイルバッテリーの充電・懐中電灯などの電池交換・生活水の確保（風呂に水を貯めておくなど）・ガスコンロやガスボンベの用意など】

②ご近所さんとのコミュニケーション

③情報収拾の方法を調べておく

防災スピーカー（防災行政無線など）

同じ浜甲子園エリアでも、被害状況は地区によって異なります。

いつ来るか分からない災害の対策が各家庭でき、いざという時の顔見知りが心の支えになる事でしょう。